

平成21年度
新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム
大学教育・学生支援推進事業（学生支援推進プログラム）
意見交換会【中国・四国・九州地区】

事例紹介大学等のプログラム概要

1. 山口県立大学（平成19年度選定）

プログラムの名称	総合的人間関係力を涵養する学生支援 －大学と地域で作るプレ社会における実践的トレーニング
（プログラムの概要） 本プログラムは、昨今の大学生の人と関わる力の低下を学生個々の能力の低下ではなく、生活経験や社会体験の不足から来るものと考え、学生支援の観点からその経験を補っていくことを目的としている。大学及びそれを取り巻く地域社会を現実の社会の前段階であるプレ社会ととらえ、このプレ社会において、学生が大学や地域社会の要請に応じて様々な取組を行うことによって、学生同士は言うまでもなく世代や職種の異なる多くの人々と関わり、体験を通じて自主・自立の精神を養い、総合的人間関係力を身につけることが狙いである。これらの取組は、学生を大学のゲストではなくスタッフとしてとらえるジュニアTA制度によって支えられる。特に、本学の校是「地域社会との共生」の実現のため、大学内に専門のコーディネイト機関を設置して積極的に地域との連携をしていくことにより、地域社会にも活力を与えるという双方向性を持つ。	

2. 鹿児島工業高等専門学校（平成19年度選定）

プログラムの名称	新たな地域連携型クラブ活動支援プログラム
（プログラムの概要） クラブ活動は、学生の心身ともに調和の取れた全人教育の観点から、極めて重要な教育活動である。本校では、全教員がクラブ活動の顧問として、積極的にその指導にあたっている。しかし、教育現場における人的、物的、財政的等の要因により、クラブ活動の指導教員が、その指導内容、安全な活動の実施について十分対応できていないのが現状である。そこで、本プログラムでは、総合型地域スポーツクラブ「NPO法人隼人錦江スポーツクラブ」や「霧島市教育委員会」と連携し、地域に潜在する有能な人材を外部指導者として登用し、学生の活気あるクラブ活動を積極的に支援するための学生支援システムを構築する。さらに、クラブ活動を地域住民の生涯学習の場としても機能させ、地域住民が学生とともにクラブ活動に参加することによって、世代間の交流や地域住民との交流を促し、クラブ活動を通じて学生の人間性の涵養を図る地域連携型の共同教育を実施する。	

3. 福岡工業大学（平成 21 年度選定）

プログラムの名称	キャリアプランニング支援と就活学び直しプラスワンプロジェクト
<p>（プログラムの概要）</p> <p>本学の就職支援の取組は、「進路設計」「就業実習」「キャリア形成」をはじめとする数科目を正課授業として配置するとともに、正課外では保護者ガイダンスや合同企業面談会等様々なプログラムを展開している。</p> <p>しかし、昨今の経済状況による内定取消し、入社後の自宅待機等の問題や、キャリア意識の希薄さにより就職活動が十分にできなかった者など様々な理由によって卒業時に就職できなかった者が存在する。それらの問題に対して、大学として対応することは社会的な責務であり急務である。</p> <p>そこで、在学生には入学時からキャリアプランの重要性を意識させ就職活動につながる体系的支援の取組を新たに開始すると同時に、卒業時就職できなかった者に対して、引き続き1年間就職斡旋及び就職支援を行う。キャリア意識の向上を図り、職業生活・社会生活に必要な能力を高めることで無業者を減少する取組である。</p>	

4. 高知学園短期大学（平成 21 年度選定）

プログラムの名称	キャリア形成の充実による就職等総合的な学生支援
<p>（プログラムの概要）</p> <p>本学は、医療・食・教育に関する専門的職業人の育成を目的としているが、少子化時代を迎え、目的意識の希薄化等により職業人としての基礎能力やどのような時代にあっても対応しうる就業力の育成が課題となっている。</p> <p>この課題に対応するため、本年度から各学科の教員で構成する就職委員会の事務局として教務学生課に企画推進係を設け、就職指導支援の企画・立案等に当たることとしている。指導・支援方策として関係業界で活躍する講師による講演会や交流会の開催、職業人としての意識の高揚を図る系統的なプログラムの実施、自己分析力・自己表現力や企業研究力の醸成のための講座の開設、就職相談会の開催、企業情報の発信収集のためのプログラムの開発及びIT関連機器の拡充整備等を計画している。これらを通じて個々の学生のキャリア形成強化を図り学生自らが目的意識を持ち就職活動に積極的に果敢に挑戦するための総合的支援を実施する予定である。</p>	